平素より弊社のIR活動へのご協力に心より御礼申し上げます。

早速ではございますが、説明を開始致します。

当第3四半期決算説明会のトピックス

- 当第３四半期の売上高は、直前四半期比＋10.2%の4,686億円。スマートフォン市場の旺盛な部品取り込みや自動車市場の生産増加により、モジュールがスマートフォン向けで、コンデンサがカーエレクトロニクスやスマートフォン向けで増加。
- 当第３四半期の営業利益は、生産増加にともなう操業度益により、直前四半期比＋35.2%の1,084億円。
- 四半期ベース、9ヶ月累計ベースともに、売上高と営業利益の過去最高を更新。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

本日の説明会のトピックスでございます。

第2四半期の決算説明会において、スマートフォン市場や自動車市場で、部品の取り込みや在庫確保の動きが過熱気味と申し上げましたが、その状況が第3四半期も続いたという状況でございました。

第3四半期の四半期ベースの売上高、営業利益は過去最高を更新いたしました。

当第3四半期決算説明会のトピックス

- 台数前提（前期比）をスマートフォン＋1%、PC＋16%、自動車▲7%へ引き上げ、業績予想を上方修正。
- 当第４四半期は部品取り込みの過熱感が落ち着き季節性の範囲で推移すると想定。
- 通期業績は、売上高1兆5,700億円（前期比＋2.3%）、営業利益2,900億円（前期比＋14.5%）を予想。営業利益は過去最高の更新を見込む。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

通期の業績予想の見通しをご説明します。

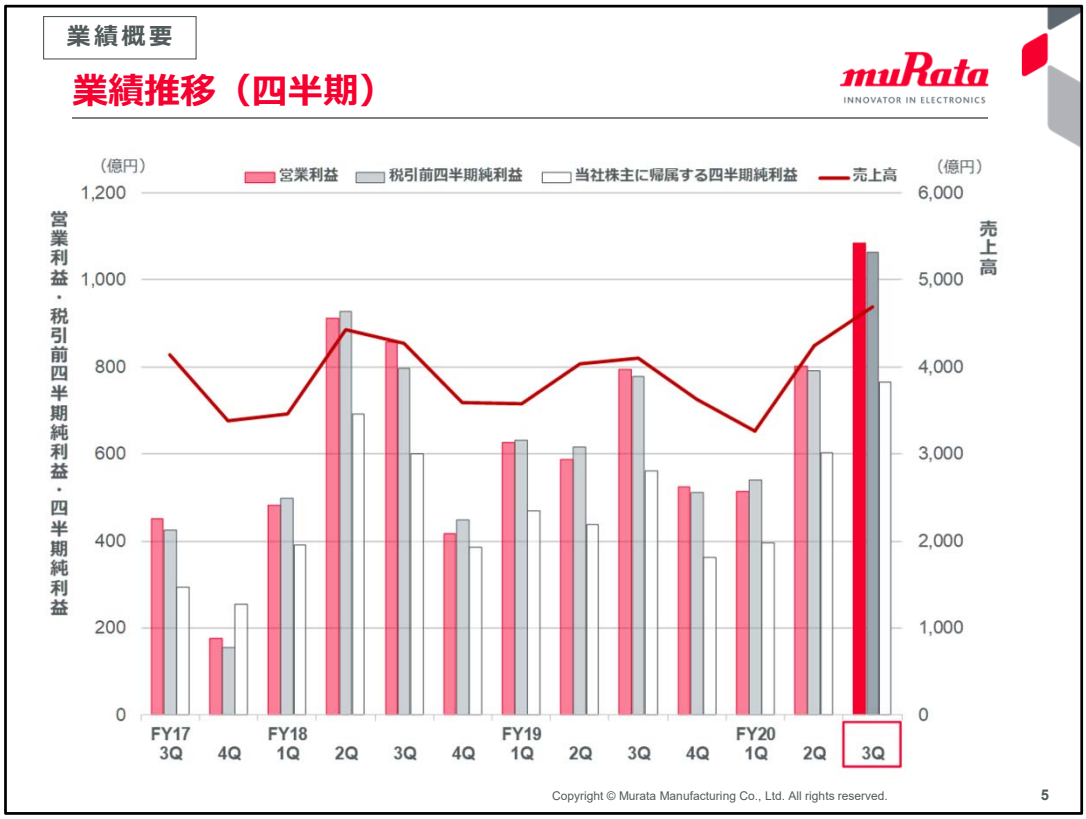
第3四半期までの実績と足元の状況を踏まえて、今年度の部品需要予測について見直しを行い、通期業績予想についても見直しを行いました。

第3四半期までの受注水準には、継続して過熱感があります。また、第3四半期にはパワーツール向けの電池で納期が長いものを含む高水準の受注が入ったことなども影響しております。

第4四半期の業績については、季節性もあり通常の巡航速度に戻っていくと予測しております。また、この半年ほど過熱気味でしたが、3月くらいから少し反動が出て、生産も落ち着いていくと推測しております。

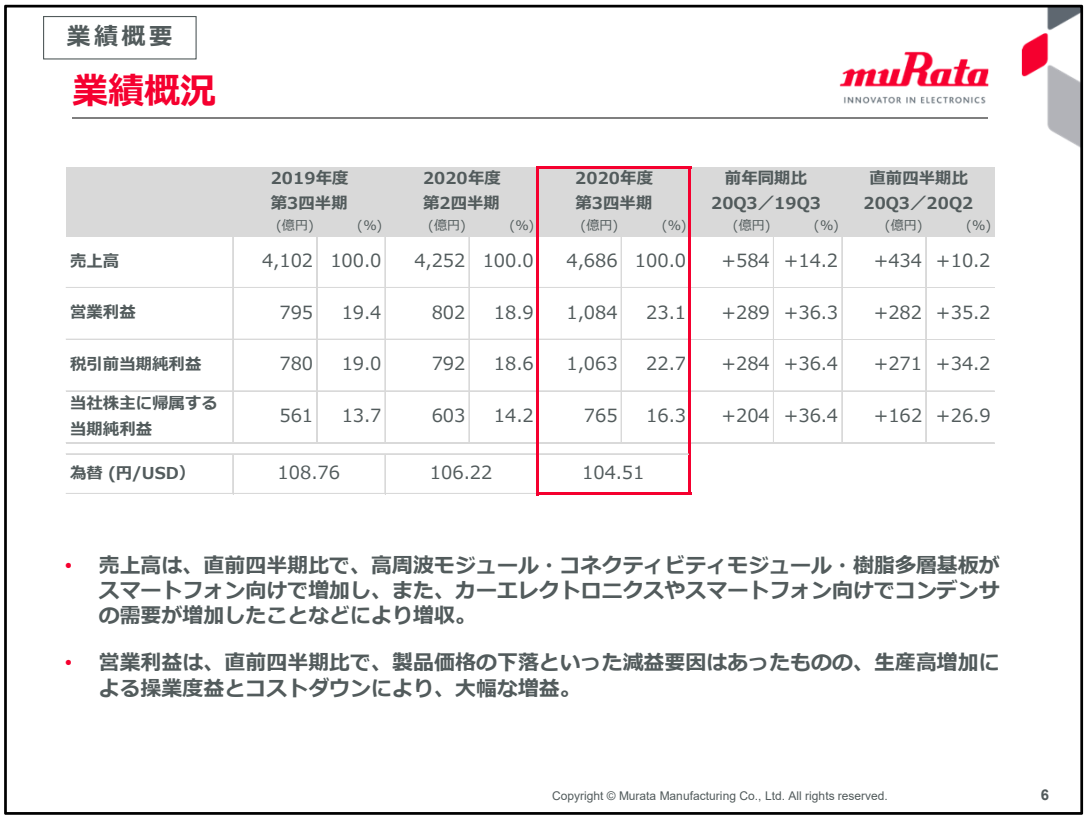
通期の業績予想は、売上高1兆5,700億円、営業利益は過去最高の水準を予想しており、増収増益を見込んでおります。

ここからは第3四半期の業績概要でございます。



四半期単位の業績推移でございます。

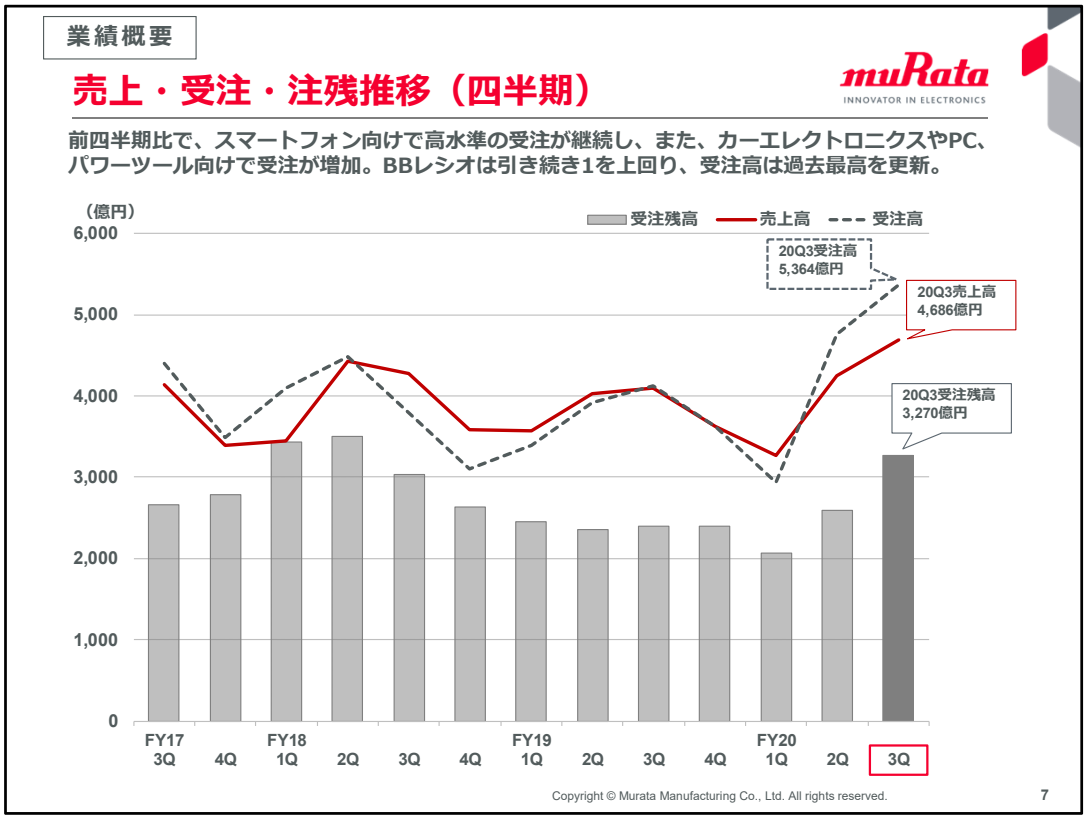
第3四半期は売上高、利益ともに過去最高の水準となりました。



当第3四半期の業績概況でございます。

過熱感のある部品の取り込みに加えて、第3四半期ということでスマートフォン向けの需要のピーク期を迎えました。

為替は円高方向に振れたものの、前年同期比、直前四半期比ともに、売上は2桁、利益でも3割前後の増収増益となりました。

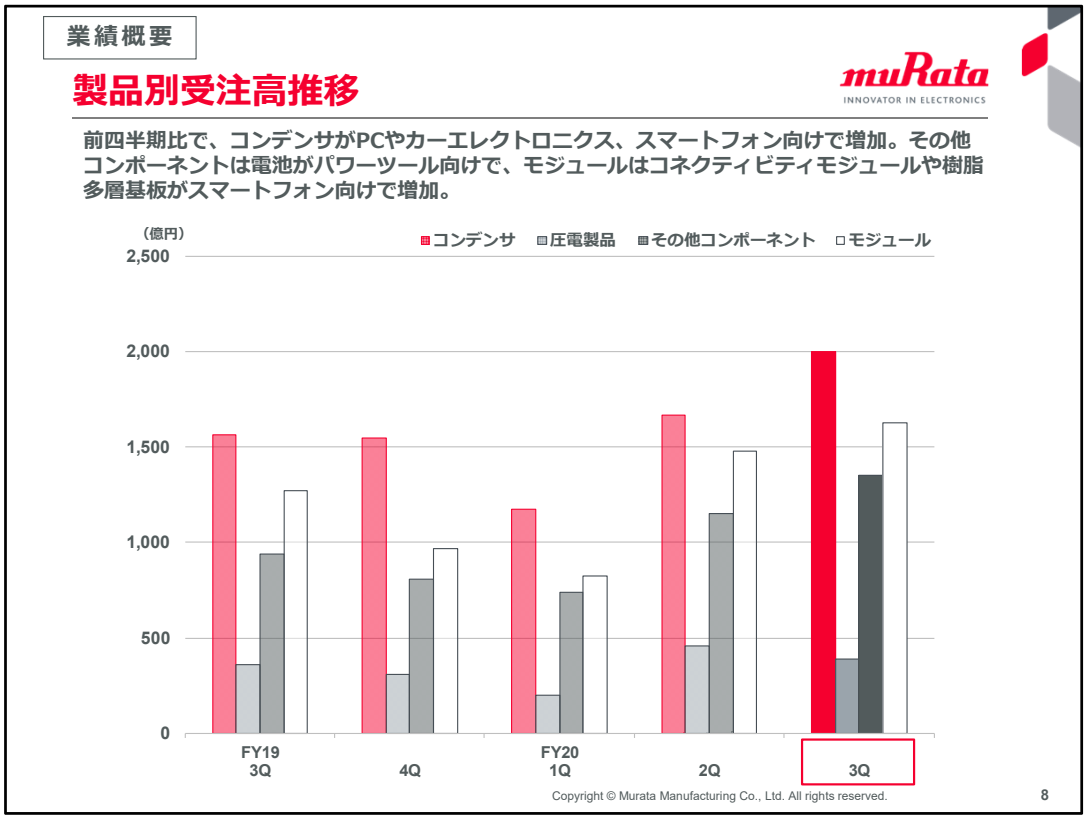


四半期単位の売上・受注・注残推移でございます。

第３四半期の受注は5,000億円を超え、大きく増加しました。PCについては大幅な増加で、カーエレクトロニクスやスマートフォン向けも、また、パワーツール向けの電池も、高い水準となっております。

第３四半期の売上高は四半期単位で過去最高の水準となっております。

第３四半期の注残は3,000億円を超えてきました。



製品別の四半期単位の受注高推移でございます。

基本的に全品種で直前四半期比、前年同期比ともに増加の傾向です。

圧電製品については、第2四半期にまとまった受注が入り高すぎる水準であったため、直前四半期比で少し減少しております。

業績概要

製品別売上高

	2019年度 第3四半期 (億円)	(%)	2020年度 第2四半期 (億円)	(%)	2020年度 第3四半期 (億円)	(%)	前年同期比 20Q3／19Q3 (億円)	(%)	直前四半期比 20Q3／20Q2 (億円)	(%)
コンデンサ	1,457	35.6	1,561	36.7	1,673	35.7	+216	+14.8	+112	+7.2
圧電製品	336	8.2	344	8.1	320	6.8	▲16	▲4.8	▲24	▲6.9
その他コンポーネント	928	22.7	1,013	23.9	1,070	22.9	+141	+15.2	+56	+5.5
モジュール	1,370	33.5	1,328	31.3	1,618	34.6	+248	+18.1	+290	+21.8
製品売上高計	4,092	100.0	4,245	100.0	4,680	100.0	+588	+14.4	+435	+10.2

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別の売上高でございます。

前年同期比では、圧電製品だけマイナスとなっております。表面波フィルタについては横這いでしたが、自動車の生産台数減少により圧電センサや発振子の売上が減少しております。

業績概要

製品別売上高概況 [2020年度第2四半期→2020年度第3四半期]

コンデンサ （直前四半期比＋７．２%）	○**積層セラミックコンデンサ（ＭＬＣＣ）** AV機器向けが減少し、PC向けは横ばいだったものの、 自動車・スマートフォン向けが増加したことにより増収
圧電製品 （直前四半期比▲６．９%）	▲**表面波フィルタ** スマートフォン向けで減少
その他コンポーネント （直前四半期比＋５．５%）	○**インダクタ** スマートフォン・自動車・PC関連向けで増加
モジュール （直前四半期比＋２１．８%）	○**高周波モジュール・樹脂多層基板** スマートフォン向けで大きく伸長 ○**コネクティビティモジュール** スマートフォン・PC関連向けで増加

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別売上高の直前四半期比での増減理由でございます。

業績概要

用途別売上高

	2019年度 第3四半期 (億円)	(%)	2020年度 第2四半期 (億円)	(%)	2020年度 第3四半期 (億円)	(%)	前年同期比 20Q3／19Q3 (億円)	(%)	直前四半期比 20Q3／20Q2 (億円)	(%)
ＡＶ	148	3.6	207	4.9	184	4.0	+36	+24.2	▲23	▲11.1
通信	2,261	55.3	2,221	52.3	2,477	52.9	+216	+9.5	+256	+11.5
コンピュータ及び関連機器	581	14.2	713	16.8	745	15.9	+165	+28.3	+33	+4.6
カーエレクトロニクス	662	16.2	664	15.6	800	17.1	+138	+20.9	+136	+20.4
家電・その他	439	10.7	440	10.4	473	10.1	+34	+7.7	+33	+7.5
製品売上高計	4,092	100.0	4,245	100.0	4,680	100.0	+588	+14.4	+435	+10.2

（注）当社推計値に基づいております

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

用途別の売上高でございます。

前年同期比では、全用途で増加しております。スマートフォン、自動車、PC、サーバー、データストレージなど、多くの市場で需要が非常に旺盛でした。

業績概要

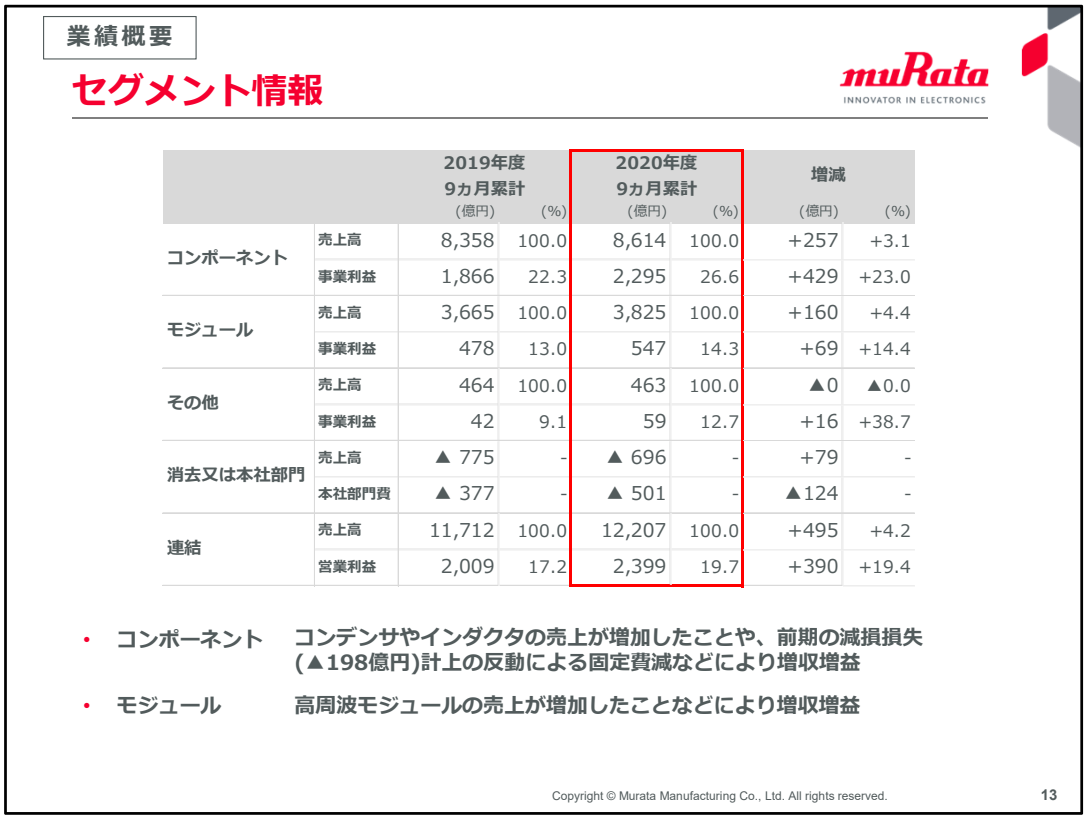
用途別売上高概況 [2020年度第2四半期→2020年度第3四半期]

ＡＶ （直前四半期比▲１１．１%）	▲ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが減少
通信 （直前四半期比＋１１．５%）	○スマートフォン向けに高周波モジュール・樹脂多層基板・コンデンサなどが大幅に増加 ▲基地局向けでコンデンサが減少
コンピュータ及び関連機器 （直前四半期比＋４．６%）	○リモートワークやオンライン教育を背景に、PC向けでコネクティビティモジュール・コンデンサ・インダクタなどが増加
カーエレクトロニクス （直前四半期比＋２０．４%）	○自動車の生産台数が回復したことにより、コンデンサ・EMI除去フィルタ・インダクタ・センサなどの需要が増加

（注）当社推計値に基づいております

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

用途別売上高の直前四半期比での増減理由でございます。



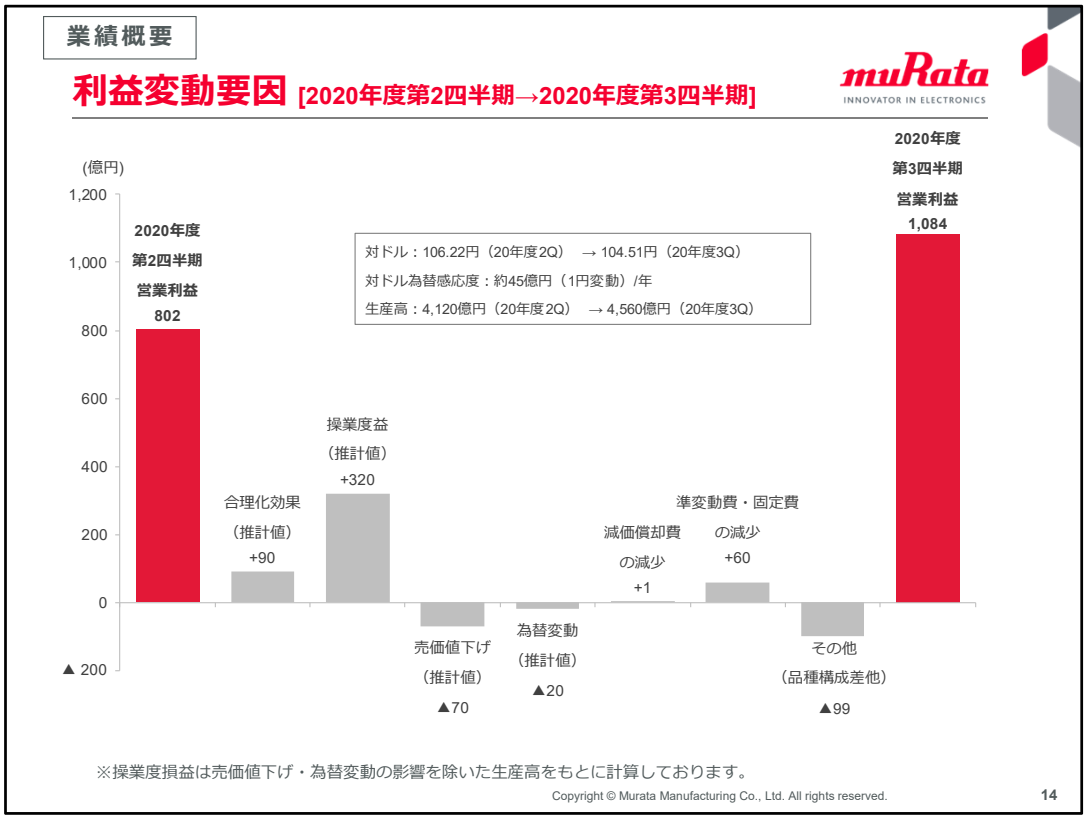
当上期のセグメント損益でございます。

9カ月累計でコンポーネント、モジュールとも増収増益となりました。

コンポーネントは2019年度第2四半期にモバイル向け電池の減損損失198億円を計上しており、その分増益幅が大きくなっております。

一方、モジュールは2020年度第2四半期に品質関連費用を計上しており、増益幅が小さくなっております。

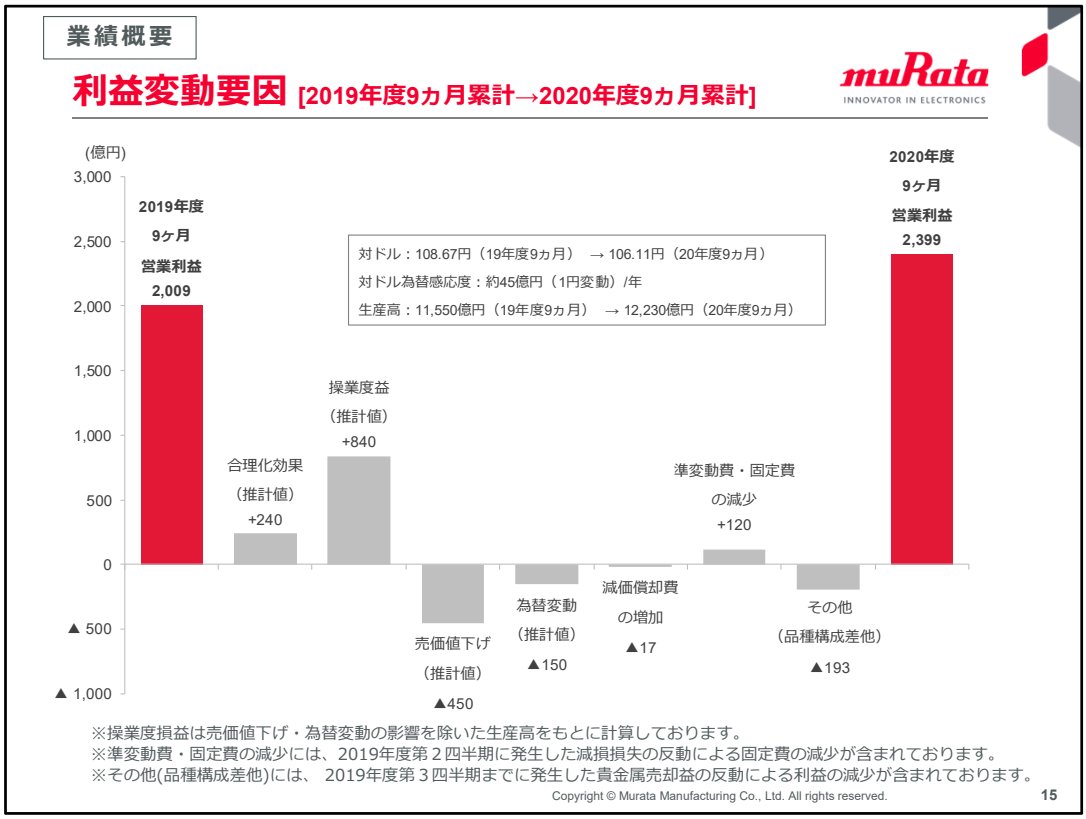
また、本社部門費が377億円から501億円に増加しておりますが、2019年度は貴金属売却益72億円がマイナスで計上されていること、また、2020年度に横浜みなとみらい新拠点を開設したことによる増加、などが影響しております。



当第3四半期の営業利益の直前四半期比での増減でございます。

固定費の減少にはさきほど申し上げた品質関連費用の影響が含まれております。

また、第3四半期はモジュールの構成比率が上昇し、コンポーネントと比較すると少し利益率が低いということで、品種構成差が少しマイナス方向になっております。



9カ月累計の営業利益の前年同期比での増減でございます。

固定費の減少にはさきほど申し上げたモバイル向け電池の減損損失の影響が含まれております。

品種構成差は、コンデンサでPC向けなどあまり新しくない、利益率が良くないタイプが増加したこと、基地局向けの売上が減少したことなどにより、全社的にプロダクトミックスが悪化方向となりマイナスとなっております。

業績概要

キャッシュフロー

	2019年度 9カ月累計 (億円)	2020年度 9カ月累計 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	2,211	1,977	▲233
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,731	▲ 1,253	+478
財務活動によるキャッシュフロー	295	▲ 313	▲609
為替変動による影響	7	▲ 24	▲31
現金及び同等物残高	2,960	3,411	+451
フリーキャッシュフロー	479	724	+245
固定資産の取得	▲ 1,761	▲ 1,422	+340
減価償却費	1,039	1,056	+17

- 前年同期比で増益だが、売上増加に伴う運転資本増加により営業キャッシュフローは減少。
- 財務活動によるキャッシュフローの減少要因は、昨年度に社債を発行したことによるもの。

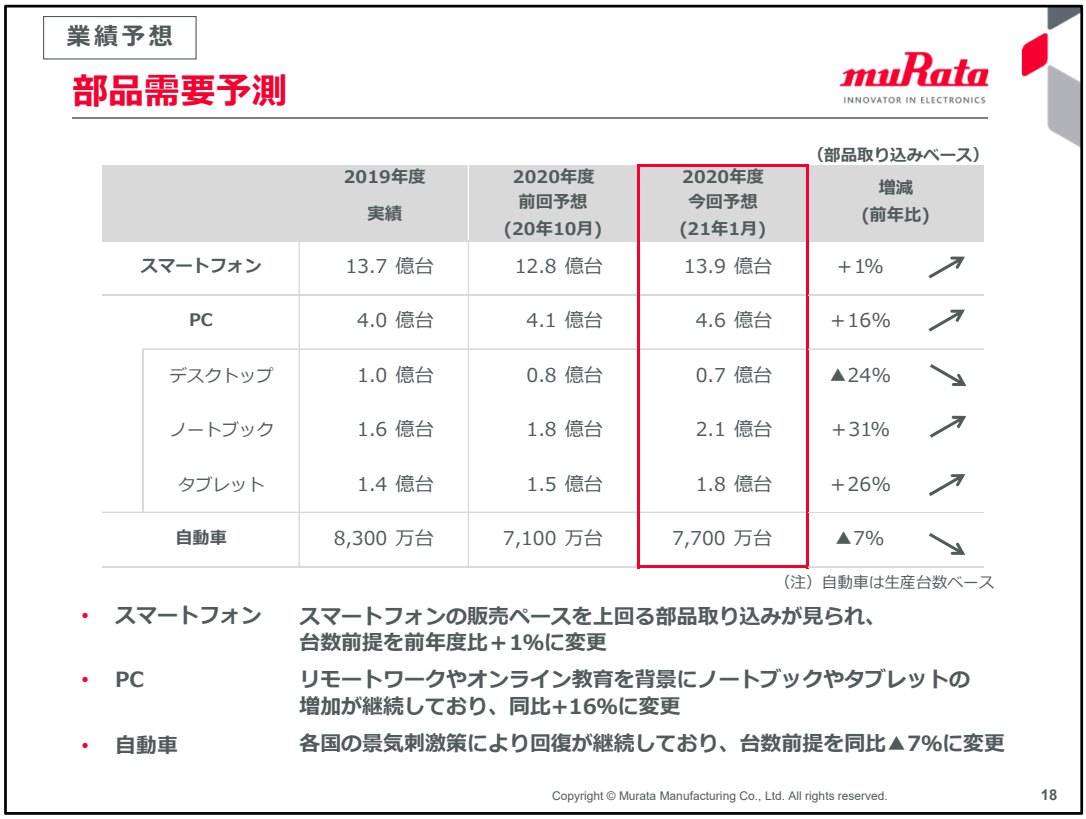
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

キャッシュフローの状況でございます。

投資活動によるキャッシュフローが478億円改善しておりますが、これは固定資産の取得（検収ベースではなく支払ベース）が+340億円減少したことが主要因となっております。

土地建物への投資が減少してきていることでキャッシュフローの改善につながっています。

引き続きまして、2020年度通期の業績予想を見直しましたので、これについてご説明いたします。



業績予想の前提となる部品需要予測を見直しています。

スマートフォン、PCについては部品の取り込みベース、自動車については生産台数ベースとなっております。

10月予想と比較して、セットの前提を上方修正しました。スマートフォンは部品の取り込みが、自動車は生産台数が増加しております。

PCについても、年度内で調整が入ると予想しておりましたが、引き続き好調に推移していることを踏まえて見直しました。

業績予想

製品別売上予想

	2020年度 通期予想 （前年度比）	2020年度 下期予想 （上期比）
コンデンサ	＋8%程度	＋7%程度
圧電製品	▲7%程度	▲1%程度
その他コンポーネント	＋3%程度	＋9%程度
モジュール	▲2%程度	＋13%程度
製品売上高計	＋2%	＋9%

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別の売上予想でございます。

セット台数の増加に伴って、コンデンサ、その他コンポーネント、モジュールの売上予想を上方修正しております。

圧電製品は10月予想比で横ばいとしております。第2四半期で取り込みが多かった反動があり、あまり上方修正の恩恵を受けないと見ております。

業績予想

用途別売上予想

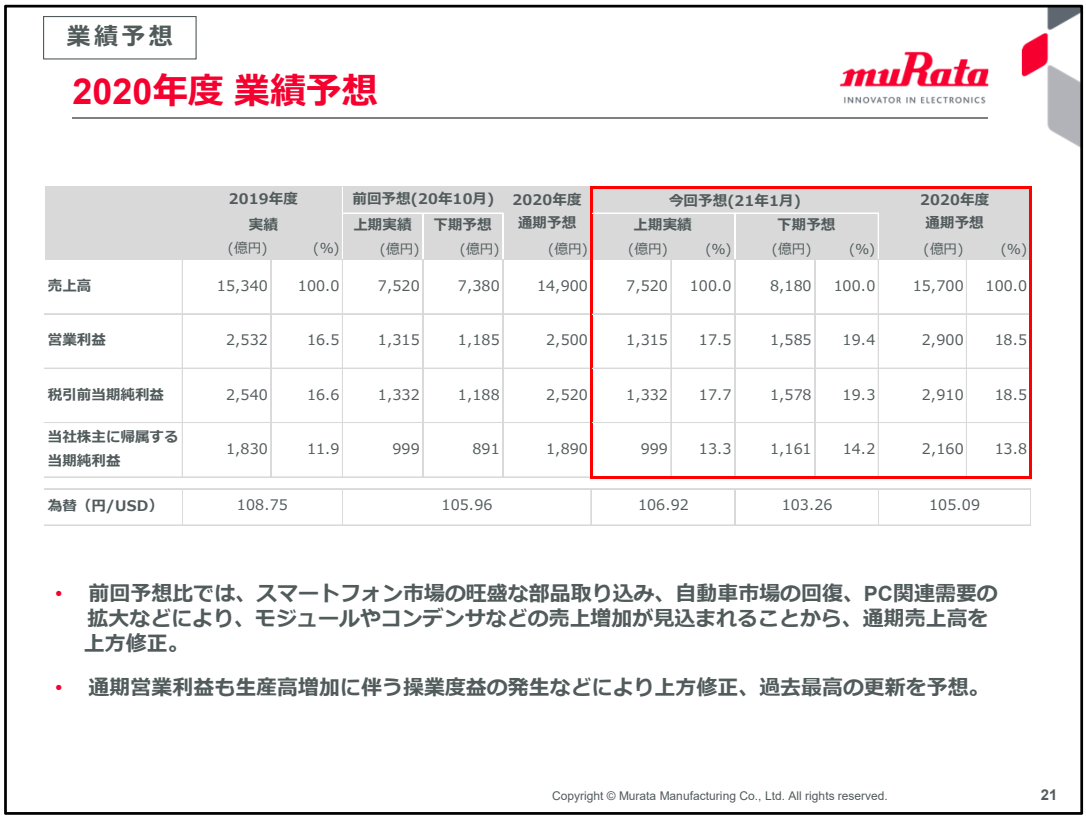
	2020年度 通期予想 （前年度比）	2020年度 下期予想 （上期比）
ＡＶ	＋14%程度	▲8%程度
通信	＋1%程度	＋10%程度
コンピュータ及び関連機器	＋18%程度	▲4%程度
カーエレクトロニクス	▲3%程度	＋34%程度
家電・その他	▲7%程度	＋1%程度
製品売上高計	＋2%	＋9%

（注）当社推計値に基づいております

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

用途別の売上予想でございます。

セット台数の見直しに伴い、10月予想比で全て上方修正を行っております。



売上予想の見直しを踏まえた、当年度の業績予想の修正でございます。

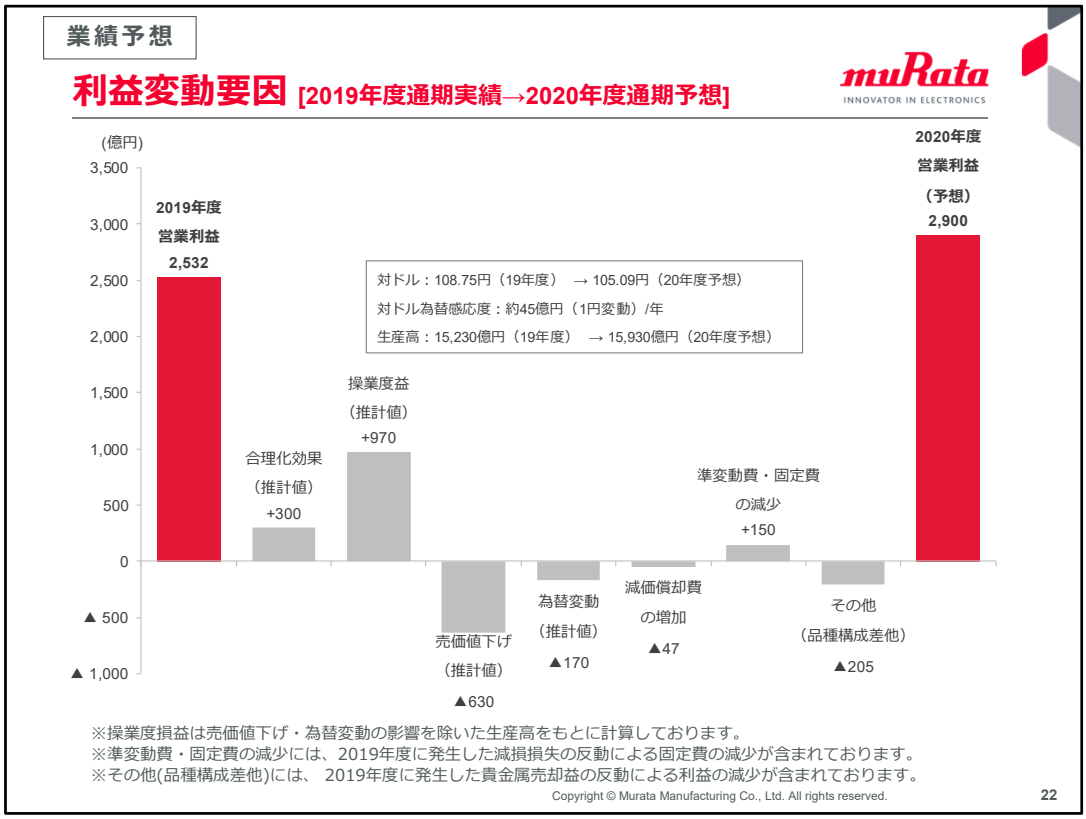
下期の売上高は8,180億円、営業利益は1,585億円と見込んでおります。

通期の売上高は18年度が過去最高でそれには及びませんがそれに近い水準、営業利益以下は過去最高の水準です。

為替レートは第４四半期のドル円を102円として試算しております。
下期としては103.26円程度となります。

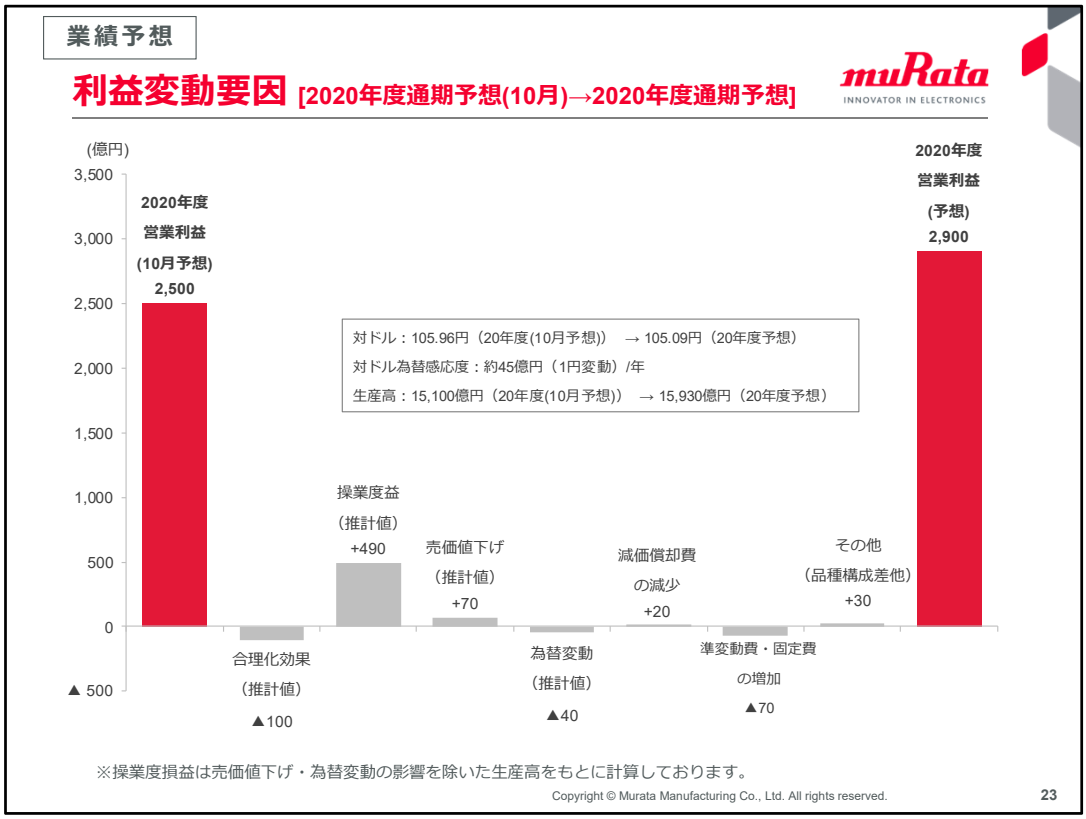
第４四半期の売上を差引きで出すと3,494億円、営業利益が501億円となります。為替影響もありますし、季節性による第４四半期の落ち込みもあります。受注のうち納期が先のものもございますので納期分布などを考慮し、また、3月くらいから反動や調整が出てくるのではないかと見ており、この下期の見直し結果となっております。

第４四半期の営業利益は、為替影響に加え、償却費を含む固定費が増加すること、自動車向けを中心に売価値下げが進行すること、などを踏まえた業績予想となっております。



見直し後の予想と前期との営業利益の比較でございます。

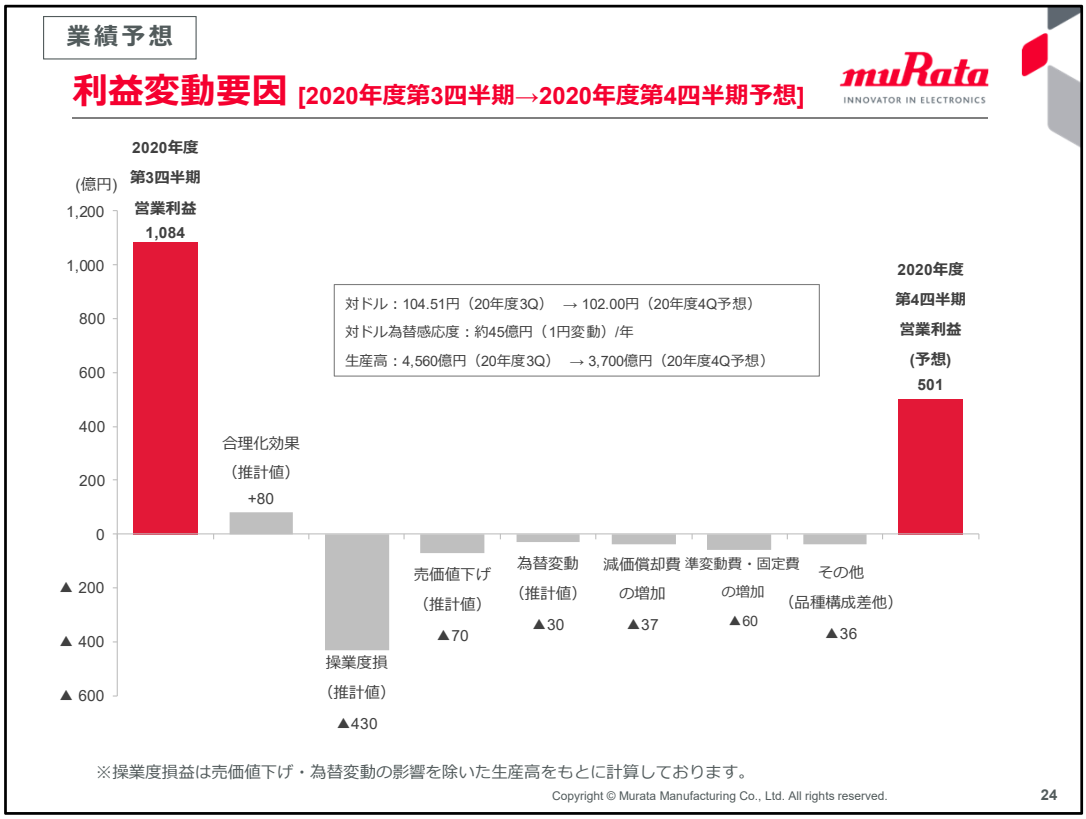
固定費の減少にはさきほど申し上げたモバイル向け電池の減損損失の影響が含まれております。



見直し後の予想と10月の予想との営業利益の比較でございます。

生産の増大に伴い生産関連費用が増加して、固定費は増加しています。

また、為替が少し影響しています。



第３四半期の実績と第４四半期の予想の営業利益の比較でございます。

第３四半期は売上よりも生産が少なかったですが、第４四半期は売上よりも生産が上回り、コンデンサ、インダクタなどコンポーネント部品を中心に積み増す計画としております。

コンデンサの操業度は第３四半期の実績が95%前後で、各市場の需要が旺盛で想定よりも高い水準に着地しました。

第４四半期は在庫の積み増しを行うため、操業度は同じく95%前後になると見込んでおります。

業績予想

業績予想の前提

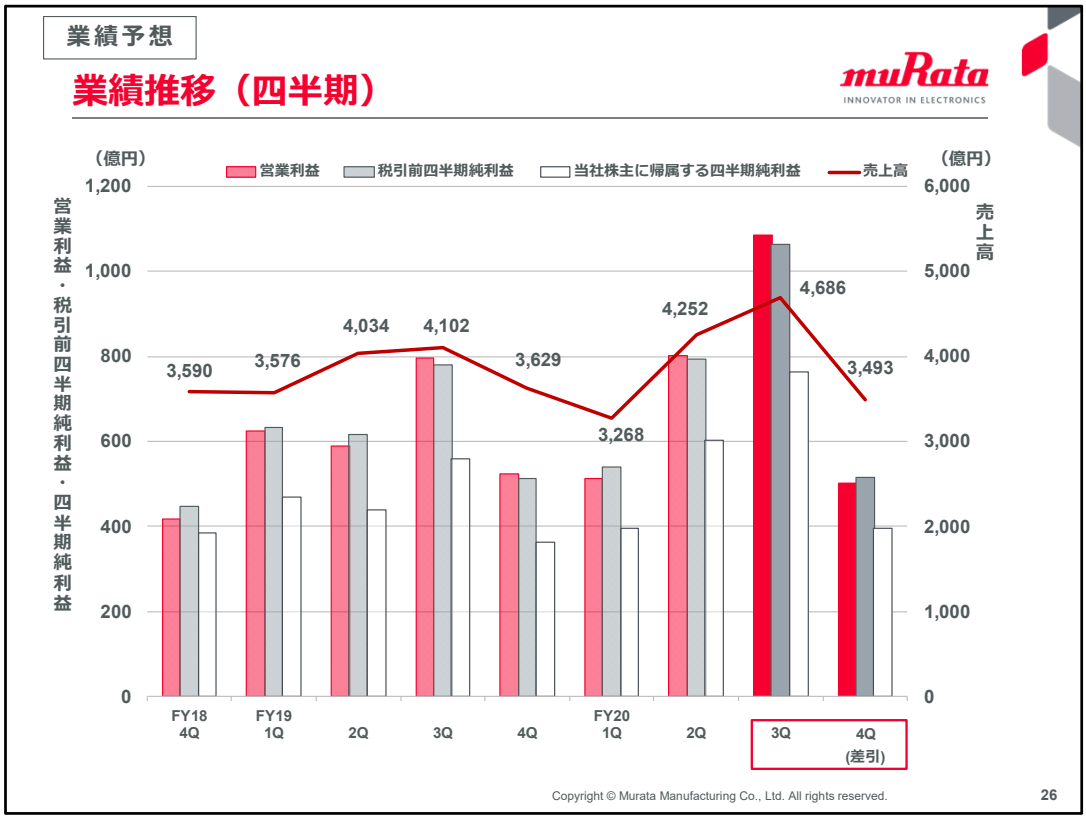
	2020年度 上期実績	2020年度 下期予想	2020年度 通期予想
減価償却費	698 億円	752 億円	1,450 億円
研究開発費	510 億円	500 億円	1,010 億円
設備投資額	840 億円	1,160 億円	2,000 億円
為替レート(USD)	106.92 円/USD	103.26 円/USD	105.09 円/USD
為替レート(EUR)	121.29 円/EUR	123.27 円/EUR	122.28 円/EUR

【参考　対ドル為替感応度】売上：約90億円 (1円変動/年)　営業利益：約45億円 (1円変動/年)

なお、今回予想では、経済活動制限措置による大規模な生産活動停止などが生じないことを前提としております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

業績予想の前提でございます。



四半期単位の業績推移でございます。

売上は第3四半期から第4四半期で大きなマイナスとなりますが、生産を上積みして在庫を積み増す計画としております。

配当

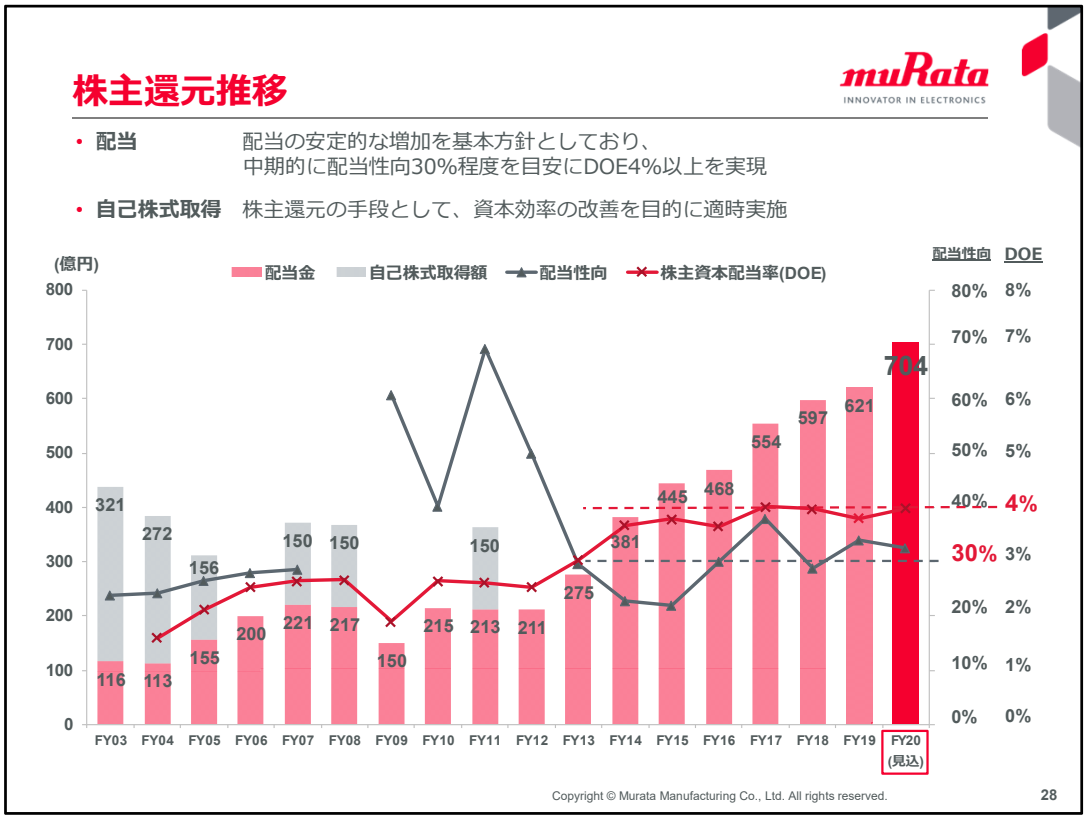
- ２０２０年度（２０２１年３月期）の配当（予定）
  １株当たり年間１１０円
  （中間配当５５円／期末配当５５円）
  ※年間配当を前年度比１３円増配

- ２０１９年度（２０２０年３月期）の配当
  １株当たり年間９７円
  （中間配当４７円／期末配当５０円）

※当 配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

配当予想については、公表済みの内容から変更ありません。



今回見直した業績予想で計算しますと、配当性向は30%強、DOEは4%ということで、配当政策に準じた水準となると見込んでおります。

説明は以上でございます。ご清聴ありがとうございました。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようにお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

Thank you

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

補足

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

補足

財務データ(1/3)

(億円)

	2017年度		2018年度				2019年度				2020年度		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,135	3,387	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686
営業利益	451	176	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084
税引前四半期純利益	426	154	499	928	797	449	632	616	780	513	539	792	1,063
当社株主に帰属する四半期純利益	294	256	390	693	601	385	468	439	561	362	396	603	765
設備投資	899	839	777	788	727	624	529	620	814	854	402	438	489
減価償却費	398	413	269	305	323	347	336	346	357	364	340	359	357
研究開発費	238	257	260	243	251	262	261	253	247	264	248	262	244
対ドルレート(円)	112.98	108.30	109.07	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

補足

財務データ(2/3)

(億円)

		2017年度		2018年度				2019年度				2020年度		
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
製品別売上高	コンデンサ	1,269	1,139	1,265	1,472	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382	1,345	1,561	1,673
	圧電製品	389	346	381	385	321	300	314	319	336	323	264	344	320
	その他コンポーネント	1,055	892	938	1,083	992	909	924	986	928	792	774	1,013	1,070
	コンポーネント計	2,712	2,377	2,583	2,939	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498	2,382	2,918	3,062
	モジュール	1,414	995	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618
	売上高計	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680
用途別売上高	AV	195	162	173	197	175	150	169	177	148	116	154	207	184
	通信	2,311	1,619	1,574	2,355	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900	1,592	2,221	2,477
	コンピュータ及び関連機器	527	513	564	653	680	595	586	606	581	532	680	713	745
	カーエレクトロニクス	533	547	596	630	660	685	668	661	662	644	428	664	800
	家電・その他	560	531	541	586	619	606	506	460	439	426	407	440	473
	売上高計	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680
地域別売上高	南北アメリカ	563	390	389	763	751	456	472	579	458	387	286	487	552
	ヨーロッパ	292	309	329	322	332	415	361	317	304	338	212	318	350
	中華圏	2,344	1,756	1,810	2,315	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921	1,988	2,441	2,764
	アジア・その他	590	615	603	664	642	684	630	696	608	646	487	677	628
	海外計	3,789	3,070	3,131	4,064	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293	2,972	3,923	4,295
	日本	337	302	318	357	380	369	378	353	349	326	289	322	385
	売上高計	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

補足

財務データ(3/3)

(億円)

		2017年度		2018年度				2019年度				2020年度		
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
コンポーネント	売上高	2,824	2,480	2,686	3,056	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625	2,456	3,008	3,150
	事業利益	721	446	626	875	849	772	675	501	689	631	589	792	914
モジュール	売上高	1,414	995	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618
	事業利益	▲157	▲166	▲5	169	140	▲159	79	179	219	17	69	148	329
その他	売上高	201	242	244	336	208	236	169	154	140	129	144	168	151
	事業利益	22	27	29	34	22	21	15	16	12	15	19	20	19
消去又は本社部門	売上高	▲304	▲330	▲340	▲445	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247	▲211	▲252	▲233
	本社部門費	▲135	▲131	▲168	▲165	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139	▲164	▲159	▲179
連結	売上高	4,135	3,387	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686
	営業利益	451	177	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

補足

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

<当社グループにおける感染防止取り組み（一例）>

- マスク着用義務化
- 入棟時の手指消毒、サーモグラフィによる検温の実施と記録
- 社内行動履歴の記録
- 食堂の横並び席及び個別仕切り席への変更、
  喫食席の記録（QRコードをモバイル機器で読み取って登録）
- 会議のオンライン化
- 執務室のディスタンス確保、飛沫防止用衝立の設置
- 出張、懇親会、イベント等の自粛

感染防止策の徹底により、生産への影響はほぼ無し

当社およびグループ会社は、今後も地域住民の皆さま、お客さま、お取引先さま、および全従業員の健康と安全を最優先に考え、政府の方針や行動計画に基づき、引き続き感染予防・感染拡大防止に取り組んでいきます。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.